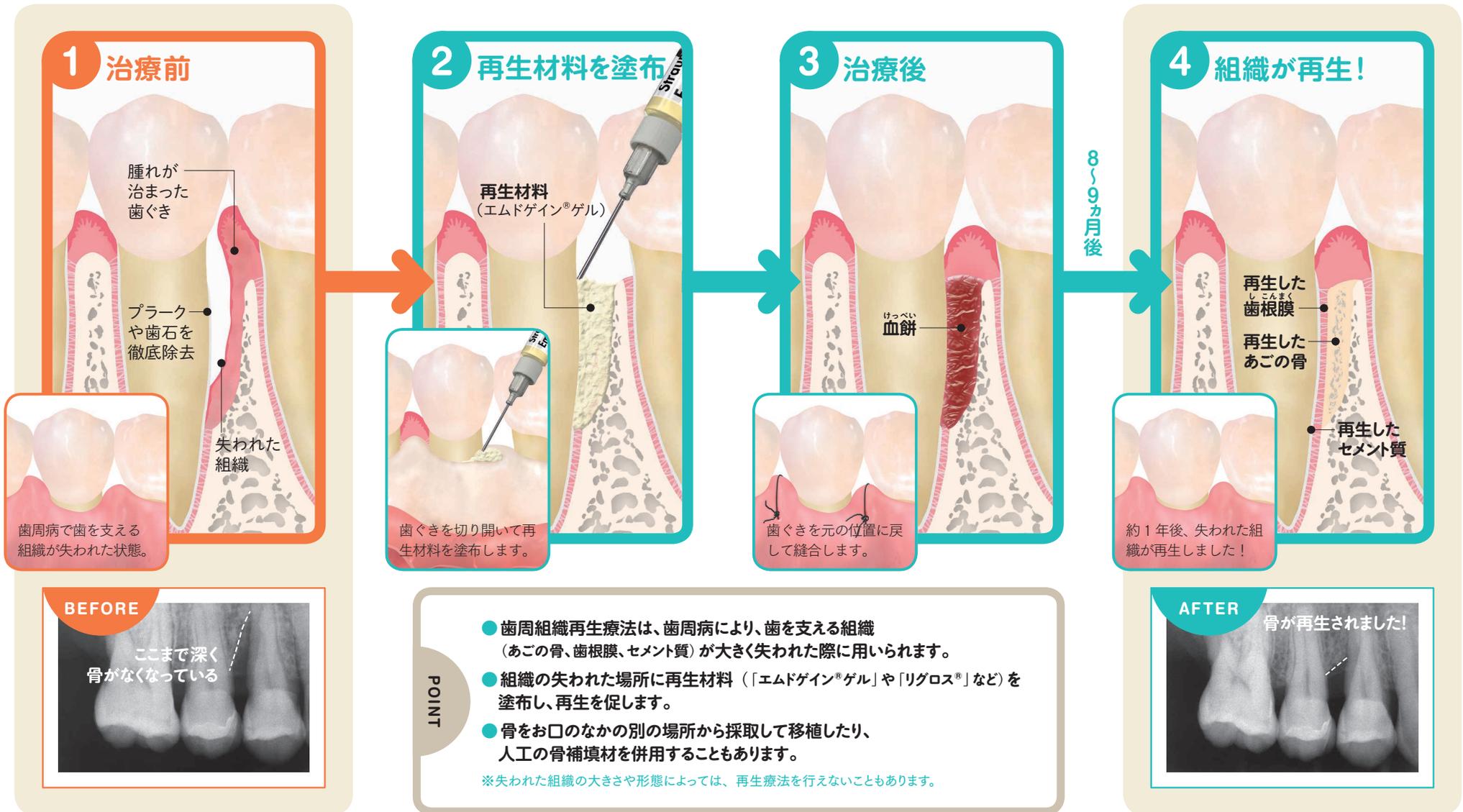


歯周組織再生療法は、こんな治療法です。

歯周病が進行して、あごの骨などの歯を支える組織が大きく失われてしまった。
そうした組織を再生して、歯を救う助けとなりうるのが「歯周組織再生療法」です。



監修：東京都・岩野歯科クリニック院長／日本歯周病学会指導医・専門医 岩野義弘

要チェック!

再生療法を受ける前&後のお心得事

歯周組織再生療法を受ける前と後にご協力いただきたいことをまとめました。

治療後のスケジュールの目安

治療終了



- 3~4日に1回来院していただき、治療した歯のクリーニングを行う。
治療した歯での食事や歯みがきはNG。

約2週間後

- 抜糸。
やわらかい歯ブラシで歯みがきを再開。治療した歯では噛まないように。

- 1週間に1回来院していただき、治療した歯のクリーニングを行う。

- 徐々に来院していただく間隔を伸ばす。

- 治療結果の確認。

8~9カ月後



↓ メインテナンスへ

治療前

歯みがきの改善を!

歯周病というのは、プラークという「細菌のかたまり」が原因で起きる病気です。プラークは一度取り除いてもわずかに数日でまたつくられます。ですから、歯周病の治療とそれに続く歯周組織再生療法の成功には、患者さんに歯みがきを改善していただくことがとても重要です。



治療前&後

タバコはNG。

タバコの煙に含まれるニコチンや一酸化炭素は、歯のまわりの組織への酸素や栄養の供給を妨げます。また、免疫の働きを狂わせたり、傷の治りも悪くさせるので、再生療法の大敵です。歯周病の治療の効果も落ちるため、タバコを吸われているかたは前もって禁煙をお願いします。加熱式タバコも同様ですよ。



治療後

噛むのはNG。

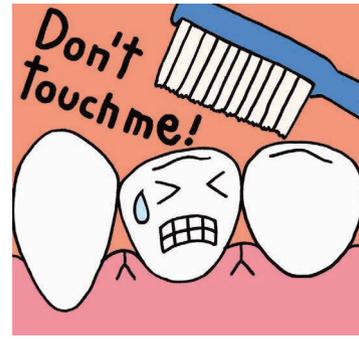
再生療法を行ったところは、とてもデリケート。周囲の歯と固定したとしても、強い力が加わると再生中の組織が壊れてしまうことがあります。抜糸が終わって歯ぐきが治癒するまでは、食事のときはできるだけそこで噛まないようにしてください。



治療後

治療した歯の歯みがきはNG。

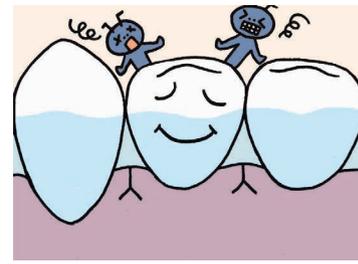
抜糸までは、治療した歯やそのまわりに歯ブラシを当てるのは絶対にNG。ブクブクうがいもしないでください。治療したところは、ほかの歯をしっかりとみがいてから殺菌作用のある洗口液でケアを。



＼かわりに／

洗口液のご利用を。

洗口液を使う際は、ブクブクうがいするのではなく、液をお口にためて、治療したところを浸すようにします。1日最低2回、1分間行いましょう。刺激の少ないノンアルコールのものが使いやすいでしょう。



＼かわりに／

数日おきにクリーニングを。

洗口液だけでは歯みがきのかわりにはならないため、3~4日に1回は来院して、プロのクリーニングを受けてください。再生中の組織に刺激を与えないように、細心の注意を払ってプラークを取り除きます。



治療後

必ずメインテナンスにご来院を。

ぶじ歯を支える組織が再生したら、ぜひ歯科のメインテナンスに通って、治療を行った歯を長くもたせましょう。

治療を受けたところは、もともと再生療法が必要なほど歯周病が進行していた場所です。治療の経過を見守り、まさかの歯周病の再発を防ぐために、定期的な歯科受診を欠かさずにお願いします。

監修：東京都・岩野歯科クリニック院長／日本歯周病学会指導医・専門医 岩野義弘